

## 歴史的建造物「名古屋市公会堂」

『歴史的建造物「名古屋市公会堂」語る・観る・触れる Vol.3』に参加しました。



公会堂（正面）

### 名古屋市公会堂概要

1930年（昭和5年）完成

地下1階、地上4階建（SRC造）

敷地面積： 6,402 m<sup>2</sup>

建築面積： 2,670 m<sup>2</sup>

建築延面積 11,939 m<sup>2</sup>

収容人数 1,994人（大ホール）

名古屋市都市景観重要建築物に指定

内容は、西澤泰彦名古屋大学准教授及び大森博司名古屋大学教授の講演と、普段は見るできない公会堂の各施設が開放され施設見学ができるという企画です。

これまでに2回開催され、好評であったため今回、3回目がおこなわれました。

公会堂は昭和天皇の御成婚記念事業として建設され、建設費の八割が市民からの寄付だったそうです。

戦時中は日本軍に、戦後はGHQにそれぞれ接收されていました（昭和31年まで）。

4階ホールは、元々は宴会や立食パーティーがおこなえるように大食堂として設けられました。現在は、780人着席できるホールとして使用されています。

その他に、7つの集会室、和室、特別室があります。



大ホール



大ホール（2階）



4階ホール



和室



特別室

西澤先生の講演によると、公会堂の正面に噴水塔があり、公会堂から出てきた人に真っ先に噴水塔が目に入るように計算して配置されているそうです。ちなみに、この噴水塔は1910年（明治43年）に鈴木禎次の設計でつくられたものを昭和52年に復元したもので、名古屋市指定有形文化財及び名古屋市都市景観重要建築物となっています。



噴水塔

また、建物は時間によって見え方が変わります。今日は、いつもより気合をいれてライトアップされていたため、建物が浮かび上がり、とても幻想的でした。昼間と夜の対比をご覧ください。



公会堂（昼間）



公会堂（夜）

最後に、西澤先生推薦の日本4大公会堂を紹介します。1つは当然名古屋市公会堂で、残りの3つは、日比谷公会堂、大阪市中央公会堂、台湾台北市にある旧台北公会堂（日本統治時代に建設）です。公会堂は都市のシンボルだということが、よくわかりますね。



日比谷公会堂



大阪市中央公会堂



旧台北公会堂